

グラビア	地域を支える人 岡本芳奈さん+田中凜さん・鳥取市	1
発掘！地域の希望のタネ	香川県坂出市〈サヌカイト〉	5
給食のじかん	〈給食作ってみよう体験〉高山市労連現業評議会	6
	「農」の現在と可能性	8
焦点	GPIFによる年金積立金運用の問題点	10
書評	鳴海正泰「松下圭一の『自治体改革・都市政策論』の源流——一九六〇年代・戦後日本の転換期の中で」	16

特集

「農」の現在と可能性

インタビュー	農福連携と農の多面的機能	濱田健司	18
座談会	半農公務員から見た日本の「農」	木幡啓郎+小原 大 座光寺成夫◎進行	26
	高級ぶどう「ルビーロマン」への道のり —石川県農村総合研究センター—四年の取り組み	吉住隆司	35
	移住受け入れ四〇年の歴史から見えるもの —和歌山県那智勝浦町色川地区のあゆみ	原 和男	40
	農を食と職に—NPO農スクールの活動	小島希世子	45
	今、何故、「環境支払」が必要なのか —経済学からは見えない「農の恵み」	浅井幸雄	50
特別報告	西原村農業復興ボランティアセンターの取り組み	河井昌猛	55
各県自治研活動レポート	群馬における自治研—自治労群馬県本部	飯島潤治	58
連載	永続地帯を再生可能エネルギーによる ゆく⑦ 復興をめざして—長野県栄村	倉阪秀史	60
連載	『月刊自治研』を読む⑥六〇年代末の労農連携	篠田 徹	65
	自治研センターの機関誌案内		71
	次号予告・編集部から		72

「農」の現在と可能性

座談会

「半農公務員」は語る

兼業農家が大半を占める日本の農家。自治体職員と兼業する「半農公務員」のみなさんにお集まりいただき、中小規模の兼業農家の置かれた現状を語っていただきます。(本誌二六頁)

石川県

高級ブランドぶどうづくりに

一房一〇万円という最高値をつけた高級ぶどう「ルビーロマン」。一四年にもおよび苦労の積み重ねが新たなブランドをうみました。(本誌三五頁)



和歌山県那智勝浦町  
移住者受け入れ  
四〇年の歴史

「田園回帰」という言葉ができるはるか前から、移住者を積極的に受け入れてきた同町色川地区。長続きする秘訣はどこにあるのか、その取り組みをご紹介します。(本誌四〇頁)

神奈川県藤沢市  
「農スクール」の取り組み

ホームレスや生活保護受給者、ニートの若者などを対象に、「農」を通じて「仕事観」や「自己肯定感」を養い、就労へと結びつける取り組みが注目されています。(本誌四五頁)



「環境支払」の提言

自治研活動から始まった「自治体・農ネットワーク」が、農業の持つ多様な価値を「環境支払」という形で実現しようと提言をしています。(本誌五〇頁)

熊本県西原村  
農業復興ボランティア

五月の熊本地震は、農繁期に起きたことで、農家に大きな影響を与えましたが、既存の復興支援の枠組みでは支援が困難でした。予算ゼロ、人員一人で立ち上げた農業復興ボラセンの挑戦をお伝えします。(本誌五五頁)



「田園回帰」が注目されるなど、「農」のイメージが変わりつつあります。そんな「農」のいまとこれからについて考えてみたいと思います。